

大阪Reportレポート



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol.47 (2026.4.6)

関西の今<トピックス>

● <アフター万博> 2027 国際園芸博覧会の庭園で「ミyakumiyaku」を探す仕掛け

・2027年、横浜市で開催される国際園芸博覧会（GREEN×EXPO2027）。大阪府はこれに出展する屋外庭園のデザインを発表。大阪・関西万博の公式キャラクター「ミyakumiyaku」の小さなプレートを目立たない場所に7つ配置し、来訪者の探索を仕掛ける。さらに、大屋根リングの木材を再利用したベンチも設置する。

・万博閉幕後も、根強い人気が続いている公式キャラクター「ミyakumiyaku」のグッズ。博覧会協会は、今年3月を期限としていた販売期間を令和10年3月まで2年間延期すると発表。今年4月以降は、万博に出展・協賛していない企業でも有償でのデザイン利用を認めるルールを導入。

・「ミyakumiyaku」から派生したキャラクター「こみやく」についても、個人で楽しむ二次創作の手引きを作りSNSへの投稿を可能に。

● <観光> 大阪府内の延べ宿泊者が5,760.5万人で過去最高を記録

・大阪観光局が2025年の大阪府内の延べ宿泊者数を5,760.5万人で過去最高であったと発表。日本人は前年比4.2%増の3,339.7万人で最多を更新。大阪・関西万博の影響と見られる。外国人は前年比4.7%減の2,420.3万人。万博による宿泊需要の高まりにより、宿泊が確保できず近辺のエリアに流れた模様。同年の客室稼働率（速報値）では、都道府県別で大阪が78.8%と最高値。

・2月の訪日外客数は、346.6万人で前年同月比6.4%の増。2月としては過去最高を記録。昨年は1月下旬であった旧正月（春節）が今年は2月中旬に。東アジアを中心とした旧正月に合わせ旅行需要が高まり、東アジアでは韓国、台湾、東南アジアではシンガポールなどを中心に訪日外客数が増加。

● <産業・経済その他の話題> 大阪圏の公示地価は3.8%上昇。期待されるIRの経済効果

・2026年の公示地価では、大阪圏は全用途平均で3.8%の上昇。大阪・関西万博の閉幕後も、不動産需要は高い状況が続く。市内中心部の再開発や訪日外客の増加、さらに2030年秋に開業が予定されているIR（統合型リゾート）による経済効果への期待などの要因が地価の押し上げに。

・2025年度の関西域内総生産の実質成長率は、前年度比0.8%増との予測（アジア太平洋研究所）。金利上昇に伴い、設備投資の伸びを引き下げ。緩やかな持ち直し局面が続くがその勢いは限定的。中国からの訪日外客が減少したが、中国以外の国・地域が下支え。

・クラフトビール製造のヤッホーブルーイング（軽井沢町）が、大阪府泉佐野市に計画している体験型ビール醸造所「よなよなビアライズ」について、7月23日にオープンすると発表。



大阪圏商業地での最高価格地点
「デカ戎橋ビル」(2,500万円/m²)

大阪での取り組みの今

最近の取組みを紹介

★「日本列島心のふるさと観光展」 (3/13-27 : JR 北新地駅みちまちスクウェア)

在阪事務所が協働して、JR 北新地駅近くの PR コーナーに出展。春の信州の魅力をポスターとパンフレットで発信。



★「南信州たかぎ村いちごフェア」 (3/7-8 : ららぽーと甲子園)

いちご狩りの受け入れについて 40 周年を迎えた喬木村が、関西で初のイベントを開催。販売したいちご（章姫）は完売。いちごのロールケーキ、ソフトクリームなどいちごデザートも好評であり、3種類のいちごの食べ比べには長い行列ができた。喬木村のイメージキャラクター「ベリー&ゴー」、長野県 PR キャラクター「アルクマ」のグリーティング、ステージイベントのじゃんけん大会にはたくさんの方が集まり、喬木村の魅力を大いに PR した2日間となった。



★「信濃大町へ行こう！フェア 2026」 (3/17-22 : ららぽーと甲子園)

大町市の豊かな自然の恵みを発信するイベント。大町産ヒノキを使った箸づくり体験、特産品の販売をはじめ、ステージイベントでは特産品をプレゼントにしたじゃんけん大会を実施。大町市のご当地キャラ「おおまびょん」、黒部ダムのマスコットキャラクター「くろによん」も登場し賑やかな6日間となった。



★「南信州まつかわ町ファーマーズマルシェ」 (3/20-22 : 天神橋筋四番商店街 JR天満駅前)

松川町の超希少りんごの「ピンクレディー®」や地域の農家が醸造したシードル、さらに、砂糖不使用のドライフルーツ、やさしい甘さの干し柿、ジュースなど町の様々な特産品を3日間にわたって販売。商店街を訪れた人々がブースに立ち寄り、南信州からの逸品を買い求めていた。



★「いいやま菜の花まつり PR イベント『信州いいやま物産フェア』」
(3/28-29：大阪市・花博記念公園鶴見緑地)

いいやま菜の花まつり実行委員会主催。大阪市の市民交流姉妹都市である飯山市が、5月3～5日に開催の「いいやま菜の花まつり」をPR。野沢菜漬や、新富倉そば、牛乳かりんとうなどのほか、伝統的工芸品も販売。飯山市PRキャラクター「いいやま雪ん子」も登場しノベルティも配布。飯山市は夏にも、雪を持ち込むイベントを大阪市内で開催するなど大阪におけるプロモーションを積極的に展開。



今後の観光物産展・イベント等の予定

★「日本列島心のふるさと観光展」
(4/10-24：JR北新地駅みちまちスクエア)

在阪事務所が協働してPRコーナーに出展。春の信州をポスターとパンフレットでPR。

★「第53回神戸まつり」(5/17：神戸市・東遊園地)

神戸の街を挙げて催される市民祭り。サンバ、ダンスなど様々なパレードやステージが街を彩る中、本県も連携都市PRコーナーとして特設広場に出展。神戸松本空港便、信州観光をPR。



ご活用ください！ディスプレイ展示

長野県大阪事務所・観光情報センターでは、事務所入口に向かって右側にディスプレイ（ショーウィンドウ）を設置しており、こちらは県内の市町村（観光協会等）の皆様幅広く活用していただけます。

展示をご希望、お考えの皆様は、お気軽に長野県大阪事務所・大阪観光情報センターへご連絡ください。



松川町 くだもの百年展示



飯山市 高橋まゆみ人形館展示

